

移転・レイアウト変更時に見落としがちな オフィス家具備品類処分の 大切な3つのポイントについて

スピーカー
株式会社オフィスバスターズ
環境企画部 松本 聖哉



オフィス家具
備品類の処分
大切なポイント
について

3選

どこに依頼するか

スケジュール感の把握

ロケーションの確認

どこに依頼するか？

見るべき点はシンプルです。

家具販売の実店舗を運営しているか

実店舗を運営していない会社は基本的に中間マージンを抜いて買取業者に販売をしています。

実店舗を構えている事で買取金額も高額になってきます。

法人としての信用度、規模（与信）

高額買取になった際、支払いの問題や規模が大きい買取会社であれば営業人員が多く下見なども調整しやすくメリットが大きいです。

余談ですが
⋮

買取時の高額査定のポイントは…

メーカーと汎用性です！

どゆことかというと????

OK

オカムラ、コクヨ、
イトーキ、内田洋行

NG

海外製の輸入家具
(某通販カタログの家具です。。。)

スケジュール感の把握

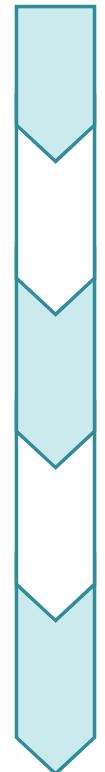
ここでいうスケジュールとは「スケジュールの全体感をおさえる」という事です。

仮に視聴者様がオフィスの移転を予定している総務担当者様と仮定して・・・
実際どのような流れで処分まで進むかと
いうと。
大枠は右記のようにすすみます。

それではそれぞれのスケジュール感を
確認していきましょう

- ①依頼先選定
- ②現地確認
- ③見積もり提出
- ④発注/契約
- ⑤引取作業
- ⑥支払

スケジュールの流れ



依頼先選定

ネットで選定しメールOR電話で依頼 (1日～2日)

現地確認

日程調整等含め実施まで 3 - 5 営業日ほど (3日～5日)

見積もり提出

下見後 1週間程度 (約7日)

発注/契約 (重要)

1週間から 10 日程度 (7日～10日)
(発注業務以外に廃棄物に関わる契約が発生するケースがございます。)

引取作業 (重要)

発注から10日前後 (約10日)

依頼先選定から約1か月前後の日数がかかります。

ロケーションの確認

ここでいうロケーションとは住所ではなく「オフィス家具備品類を運び出すビルの搬出条件」の事です。

色々と確認する必要がございます。

条件によって見積もり金額が
変わってきます。

(車両の大きさや夜間料金など)

- ①エレベーターの有無
 - ②駐車場の有無
 - ③駐車場の車高制限
 - ④回収車両の駐車
スペースの有無
 - ⑤養生の範囲
 - ⑥作業日時、時間の制限
- などなど

そこで

必要な情報を一発で
確認する方法をご紹介。

それは。 。 。 。

ビルの防災センターへ問い合わせる ✨

防災センターがなければビルの管理会社へ連絡します。

ここに必要情報を確認すると **さきほどの情報を全て確認する事ができます。**

また必要に応じて作業届けの提出なども発生するため、**必ずコミュニケーションを取っておきましょう。**

これをやらずに勝手に作業を行うと。。。。

作業中断や共用部分の床などの補償問題に発展する事があります！

また作業日に関しては他の引っ越しなどとバッティングしないかどうかを確認するかもポイントです。

オフィス家具備品類の処分
大切なポイントについて3選

まとめ

どこに依頼するか

実店舗を持っていて
与信問題が無い先を選ぶ。

スケジュール感の把握

処分希望日の
1か月前程度から動き出す。

口頭ーションの確認

各種諸条件は防災センターで
まとめて聞く。

ご視聴、ありがとうございました。

スピーカー
株式会社オフィスバスターズ
環境企画部 松本聖哉

